

2024年度 法学研究科 博士課程前期課程・後期課程，論文提出方法

※履修要項の該当ページも参照すること

博士課程前期課程，論文提出要領

(1) 提出物

- ①正本1部，②複写3部，③論文のデータを記録した電子記憶媒体（CD-R，USBメモリなど）1部
*電子記憶媒体には，論文のデータをWordおよびPDFファイルで保存し，その表面に提出者の学生番号，氏名を明記し，CD-Rの場合はケース等に入れて提出すること。

(2) 体裁

2018年度以降入学者

論文の字数は，修士論文30,000字以上，リサーチ・ペーパー15,000字以上とする。

その他論文の書式については，指導教員と相談の上決定する。

2017年度以前入学者

論文の書式や字数（縦書き・横書き，1ページあたりの文字数，総字数など）については，指導教員と相談の上決定する。

<以下は入学年度に限らず共通>

- ① 論文のサイズは原則としてA4版とし，穴を開けて綴じる形式のフラットファイルや簡易製本で綴じれば，製本をしなくてよい（はさみこむだけのバインダー、ホチキス留めは不可）。長辺・短辺のどちらを綴じてもよい。
- ②表紙
- ・表紙（指定フォーム）には，修了年度，指導教員，題目，専攻，学生番号，氏名を必ず明記すること。表紙（指定フォーム）は提出締切日の1か月前から池袋キャンパス教務事務センターで配付する。
 - ・フラットファイルの場合は，表紙（指定フォーム）をファイル外側（表面）に貼付すること。表紙（指定フォーム）とは別にファイルを開いた時に中表紙が見えるように，論文の先頭には中表紙をつけること。中表紙は各自が作成したものでよい。その際は，修了年度，指導教員，題目，専攻，学生番号，氏名を必ず明記すること。
 - ・透明の簡易製本カバーの場合は，論文の先頭に指定の表紙（指定フォーム）をつけて綴じること。

(3) 使用言語

- ① 原則として日本語によるものとする。ただし，特別の事情がある場合には，他の言語の使用を認めることがある。
- ② 他の言語を使用する場合には，前期課程にあつては，論文題目届の提出時に届け出るものとする。
- ③ 研究科委員会は，他の言語の使用を認めるか否かについて審査する。
- ④ 他の言語を使用した場合には，論文提出の際に，日本語による要約を添付する。

(4) 手数料

所定の単位を修得後，3年次以上に在学している者が修士論文／リサーチ・ペーパーを提出する場合には，論文審査手数料1万5千円分の証紙を購入し，論文とともに提出すること。

博士課程後期課程，論文提出要領

(1) 提出物・部数

仮製本論文：3部

論文コピー：1部

学位申請関係書類：各3部，うち2部はコピー可

PDF：1部

(2) 体裁

仮製本論文：本文に表紙を付し，フラットファイルやバインダー等を用いて散逸しない状態に綴じた形式のもの。表紙には，論文題目および申請者名を記入すること。

論文コピー：ホチキス・穴あけパンチ等を用いず，ダブルクリップや穴を開けない形式のファイル等でまとめたもの。

(3) 使用言語

- ① 博士論文は原則として日本語によるものとする。ただし，特別の事情がある場合には他の言語の使用を認めることがある。
- ② 他の言語を使用する場合には，後期課程にあつては事前に届け出るものとする。論文の提出にあたっては日本語の要約を添付する。
- ③ 研究科委員会は，他の言語の使用を認めるか否かについて審査する。

※詳細は R Guide の「博士学位申請ガイドブック」を参照のこと